

## 地方大学・地域産業創生交付金事業への申請に対する評価結果について

令和 7 年 7 月 29 日  
内閣府地方創生推進事務局

令和 7 年度地方大学・地域産業創生交付金事業第 1 回公募における地方公共団体からの申請について、地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会（以下、「評価委員会」という。）による評価を実施し、下記のとおり決定いたしました。

### 記

#### 1. 採択地域（別添 1 参照）

帯広市

#### 2. 評価方法

評価委員会において、「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する基本指針」（平成 30 年 6 月 1 日内閣総理大臣決定）を踏まえた以下の観点に照らし、書面評価、現地評価及び面接評価を実施しました。評価の経過等は別添 2 のとおりです。

評価観点：①-1 産業創生・雇用創出、①-2 産業創生・雇用創出におけるデジタル技術活用、②事業実施体制・自走性、③研究開発、④人材育成、⑤大学改革

#### 3. 事業概要

地方大学・地域産業創生交付金事業は「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」（平成 30 年法律第 37 号）に基づく事業であり、首長のリーダーシップの下、地域の産官学が連携し、産業創生・若者雇用創出を中心とした地方創生と、魅力的な地方大学づくりに一体的に取り組む地方公共団体を重点的に支援するものです。

## 地方大学・地域産業創生交付金事業の計画一覧

申請 団体名	計画名
	主な参画機関
	事業概要
帯広市	<p>十勝型フードシステムの形成-農畜産と食品加工の連携による価値創出-</p> <p>国立大学法人北海道国立大学機構（帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学）、公益財団法人とかち財団、よつ葉乳業株式会社、ISHIYAグループ、十勝農業協同組合連合会、帯広市川西農業協同組合、NTT東日本株式会社 他</p> <p>日本有数の食料生産基地である十勝地域において、持続可能な農畜産業に移行し、生産基盤の安定化を図り農畜産物の収量・品質を確保するとともに、嗜好性・機能性の高い商品開発（チーズ、小豆加工品等）・市場開拓を行い、地域内経済の好循環を実現する。また、北海道国立大学機構を構成する3大学の融合を加速し、生産・加工・流通・消費に至るバリューチェーンを包括的にコーディネートできる専門人材の育成等に取り組む。</p>

※交付予定額については、今後決定

(別添2)

地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会による評価等の経過

令和7年5月8日(木)

～5月9日(金)17時 令和7年度第1回公募申請期間

令和7年5月16日(金)

～7月7日(月) 書面評価、現地評価、面接評価

※今後、内閣府において、法律に基づく計画の認定等の手続きを行った上で、交付金による支援を開始。

※「地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会」の委員名については、令和7年度末の交付金交付の内示後に公表。

(以上)